

北支社 宮町2-122
県庁 宮町ビル2F
第一 TEL 048-521-0819
FAX 048-521-1540

地域に役

所沢市有楽町では「天王様」の祭礼(14日)に地口行(回合むせ)の意遊びをもち「灯(あんどん)を目玉前に飾り、た文字に絵を描いたものもなし」などがあり、これら「炎を鎮める風習がある。おきつね八寸、舞の文子にお地口行灯で、自同市中心市街地活性化拠点 飛び、子太夫のほり、舞のわたせなどが地口行灯で、自施設「野老澤町商店」の滝のほり、あひり、悪事、然る美いかなみ上げ、これと、地口行灯には地口絵が必

と、地口行灯には地口絵が必

元氣です

新たな医療の道へ

本庄で患者講師ら講演

「患者の声を聞く、みんなで(動講師)らが事発表した。紡ぐ医療の絆」をテーマにした講演会が、本市市西富田の早稲田田リサーチパークコミュニケーショセンターで開かれた。群(IGHWの会)が主催した。今回馬大学医学部の患者講師(非常



授ととも「患者の声を聞く」を編著した林田素美さんが本誌刊までの背景を語った。林田さん

授とともに「患者の声を聞く」を編著した林田素美さんが本誌刊までの背景を語った。林田さん

んは都内で28年間、企画・編集などを手掛ける林田プロジェクトの社長をしている。14年前にくも膜下出血になり、手術を経て健康を取り戻すと、群大医学部で患者講師を務めてきた。本は、2006年から患者講

師を努める4人と、担当の教授が執筆した。林田さんは「患者は、同じ病状でも、それぞれ考えも違ったり、環境も違ったりだから分かること、患者者たちが生かせることを理解する」で、新たな医療の道が開かれるのではないかと考えている。「な

また、「中枢性尿崩症(CD)I」の会 副代表の大木里美さん(本患者の声を聞く)は原出版新社刊で、A5判268頁(定価2千円+税)の問い合わせは、

林田プロジェクト(03-6759-4557、Eメール: Etabo@hayasida.jp) (江利川義雄)



初めての「七夕まつり&オープンカフェ」寄せた短冊などを飾りつけた竹飾りとボラ「ニュータウンふくしプラザ」前広場

者(子どもたち)が一緒に遊べる輪投げコーナーなどを設ける。副実行委員長の石原宏子さんは「多くの人に参加してもらい交流を深めてもらえれば」と話した。オープンカフェは午前10時から午後3時まで。問い合わせは、ニュータウンふくしプラザ(049-290-5469)へ。

日本医科大と社会貢献で東京都文京区などにキャンパスを持つ日本医科大学(田尻孝学長)とふくし野市にキャンパスがある文京学院大学(川邊信雄学長)は、専門技術向上を通じて社会に貢献することを目指し、大学間連携協力協定を締結。5日に両学長による協定書調印式を行った。写真、合わせて去年4月に文京学院大学に開設さ



調印式で両学長は「連携の成果を人材創出などで結果を出したい」、川邊学長は「地域医療の面で社会に貢献していきたい」とそれぞれ抱負を述べた。(小林哲伸)

せせらぎに放流のホタル500匹が乱舞
新座、きよから観賞会
新座市の野火止用水路にある「ホタルのせせらぎ」で観賞会

音楽

◆新座文楽楽団第32回定期演奏(新座) 21日午後2時か(1時半開場)、新座市民会
曲目はロッシニニ「セビリア」理髪師序曲)、シューベル「交響曲未完成」、ブーム「交響曲第4番」。指揮は若谷さん。料金800円。
問い合わせは同楽団楽団運営の齊藤さん(042-33-4453)。

観察

◆キノコ野外観察会(小川) 5日午前9時半~午後3時、川町木上上、県立小川げんきサテライト。埼玉きのこ研究会周年を記念して、キノコを探察するとともに、キノコに関するミニ講座を開催する。参

映画

(最終日・山梨県小瀬スポーツセンター) 男子団体 ①埼玉栄18・5点 ②西武文理11・150点 女子団体 ③星野11・4.5点 ④伊奈学園9・250点
ポスター、ほか巻をお寄せく
宮町ビル2F 埼玉新聞社
町2の282の3 本社編集局(048-521-1540)係です。

まち

ひと

であい

バッグと物の専門店
bag
あぶらや
〒330-0063
Tel.048-522-2342
さいたま市 浦和区 高砂1-6-10
http://www.aburaya.co.jp